

現役市会議員が見た「虚構」と「真実」

村山祥栄

同和「裏」行政 京都

京都・同和「裏」行政

現役市会議員が見た「虚構」と「真実」

「食わず嫌い」「触れぬ嫌い」な京都人に、どこまで届くか、若手市会議員の反逆の狼煙。

昨年、久米宏、小倉智昭、テリイ伊藤が「テレビの責任」について番組で討論していた（北野武と爆笑問題が司会だったような）。不毛な討論だなあ、と思いながら観ていたのだが、「覚悟のあるテレビ人がいない」という久米宏の一言で少しスッキリした。要は「ジャーナリズムを貫くなら、降板覚悟で喋れ」である。それにしても「スポンサー」に楯突け、とまでは言っていない。この面子でも深層には辿り着かないのがテレビだ。

さて、本書は終了したと言われる同和行政について、「実質的にはまだ続いていて、しかもこれだけのムダ（コミュニティセンター内に何か存在するボクシングジムとか、殆ど使われずにいるが調律は続けられるピアノとか）があるんですよ!?!」という凡例を、実地調査によってできる限り挙げたものだ。さらに著者なりの対応策を添えている。

著者が同和問題（もしくは著者曰く「京都のタブー」）の深層に辿り着いたか？と言え、同和地区住民の言葉に比べて、京都市職員のコメントが少ないので疑問符はつくが、暴露本とは明らかに違う。

人に直に触れて初めて解ることがある。「触れぬ嫌い」であって欲しくない。と著者は言う。そもそも京都人なんて触れぬ嫌いばかりだ（それが僕は大好きだ）。そういう意味では深層に近づこうとしているし、若手議員の熱き鼻息は十二分に伝わる一冊だと思う。

（竹中 聡/本誌）

逆差別の現場「発」タブーなき再生論

終わったはずの同和事業に隠された深き「闇」!

講談社+α新書

続発する市職員不祥事と迷走する同和行政。解放運動の総本山で今、何が起きているのか

■京都・同和「裏」行政 現役市会議員が見た「虚構」と「真実」
■村山祥栄 著 講談社+α新書 ■定価 840円(税込)

~京女・真摯のactive life~ 月刊 芸妓自身!!

「芸達者、お笑いな節分！」の巻

本年も「芸妓自身!」、よろしゅうおたのもうします。さてさて、2月は「お化け」という行事があります。元々は厄よけの意味があり、いつもと違う姿に化けて吉田神社さんなどにお参りにお出かけになられたそう。



私達の場合、それがエスカレートして平均1組2~3人のチームを作り、10分くらいの芸をします。普段のお座敷では、祇園は井上流の舞が絶対的なものですが、この日に限り他の流派の出し物もOKで、チームによってはフラメンコも!

各組がそれぞれの芸を披露して何十軒もお座敷を回らせていただきますが、私達のチームはちょっとした小芝居がこ

左/真乃香ちゃんはCHIMALABELではSURUMEちゃんと呼ばれています。右/小喜美ちゃんは山口公女という名前で「すっぴん芸妓」という本を執筆してます

MAKOTO率いる京都発信エンターテイメントチームHP
<http://www.chimalabel.com>

只今CD発売中 featuring MAKOTO
「M.O.N」 first mini Album "UNKNOWN/安穩"



こ何年かのウリになってまして、お陰様で「チームお笑い」の称号を頂戴しております。写真は昨年のもので、私は「八百屋お七」、左右の二人（後輩どす）は「人形使い」ということで人形振りとなったわけです。ミュージシャンでもあるもので録音には凝ってしまい、スタジオ入りして音源を作り効果音もバッチリ。浄瑠璃も知り合いに私の書いた歌詞で語っていただくというオリジナル。題名は「八百屋お七転八倒」というインチキなもの。

内容は3017年宇宙ステーションに設立された「惑立文楽劇場」から初の生中継、人形使いも途中で人形の操作をPCによるプログラミングに変換し、浄瑠璃のエアート味線とエアート語り(歌)となる。途中で電波状況が悪くなったりしてフィナーレは何故か「WE WILL ROCK YOU♪」。何年前より環境を考えたメッセージなどを含めてやっておりましたが、私は昨年でリタイア。

チームお笑いは後輩が頑張ると言ってくれてますので、今年からは観客どす〜。